

色彩を持たない

村上春樹と、

彼を巡るはなし

高野敏行×小田島本有 公開トーク

● お問い合わせ 市立釧路図書館
〒085-0836 北海道釧路市幣舞町4番6号
TEL 0154-42-1411 FAX 0154-43-2930

11月3日 日 開演 14:00
開場 13:30

市立釧路図書館 4階 視聴覚ホール ● 入場無料
● 申込不要

小田島 本有

Motoari, Odajima

1957年、札幌生まれ。北海道大学大学院修士課程修了。現在、釧路工業高等専門学校教授。日本近代文学専攻。近年は朗読会活動にも力を注いでいる。



高野 敏行 Toshiyuki, Takano

1949年空知生まれ。1985年に一橋大学院社会学研究科博士課程を経て、1988年4月から釧路公立大学助教授、1995年4月から同教授。2012年4月に学長に就任した。パスカルやドイツ観念論などについて研究している。学生から受講希望が殺到する人気教授であり、同友会の幹部大学では、哲学の講師として活躍している。

「高野先生が小田島さんと村上春樹について対談したいそうです」
そんな電話が関係者からかかってきたのは今年の2月の夜のことだった。電話の向こうでは高野先生を囲む飲み会が開かれており、そこで飛び出した発言だという。
お引き受けすることにしたものの、相手は哲学者。しかも映画、音楽、アニメなど、あらゆることに造詣が深い方とあれば、いったい何が飛び出すか不安は大きい。でもこの企画、第三者の眼から見れば面白そうだという気持ちも一方ではある。どうなることやら。小田島談

小説を書くたびにベストセラーとなり、国際的にも日本を代表する作家でありながら、あまり村上春樹の肉声を聞いたことがない。色彩を持たないのは、ひょっとすると作家本人なのかもしれない。
そんなことを考える内、誰かと村上春樹について話してみたいと考えました。どんなことになるのか、話してみるまでわからないけれど。
高野談